



ゼロカーボンシティかのやを目指して

鹿屋市では、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにするカーボンニュートラルを目指して取り組みを進めています。

今年4月に、再生可能エネルギーの導入を推進する市の事業計画が、環境省の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金(重点対策加速化事業)」に採択されました。

これらの事業を実施することにより、令和9年度までの5年間で約2,000tのCO2排出量を削減することが見込まれます。これは杉の木約14万本が年間に吸収するCO2量に相当します。

本市では、これからもゼロカーボンシティかのやを目指して様々な取り組みを進めていきます。

☎ 0994-31-1115
鹿屋市生活環境課

重点対策①

個人の住宅に設置する自家消費型太陽光発電設備と蓄電池の設置費用を補助

太陽光発電設備等設置補助金

補助対象設備

市内の住宅に設置する自家消費型太陽光発電設備とそれに付帯する蓄電池

※蓄電池のみの設置は対象外

補助対象者

自ら所有し居住する(又は建築・購入後に住む予定)住宅に補助対象設備を設置する人

補助金の額

○太陽光発電設備
1kW当たり7万円

※10kW未満の設備に限る

蓄電池

○設置費用の3分の1
※10kWh相当額が上限で、1kWh当たり15万5,000円以下(工事費込み・税抜き)の設備に限る

その他の要件

○自家消費型であること

固定価格買取制度(FIT)及び電気を売る際に補助金が加算される制度(FIP)の認定を受けないこと

○自家消費割合が30%以上

補助対象設備で発電した電力の30%以上を自家消費する設置計画であること

財産処分の制限

法定耐用年数期間内(太陽光17年、蓄電池6年)に補助の目的に反して譲渡や処分を行う場合は市の承認が必要 など

申請書等の提出期限

○交付申請書
令和5年12月22日(金)まで

○実績報告書
令和6年2月29日(木)まで



自家消費型太陽光発電設備で昼に余った電力を蓄電池にためておけば、夜間～朝の時間帯や、災害時に停電したときに電気が使えて便利になります。



できることから始めてみよう

ごみの分別を徹底しましょう

ごみは焼却時に多くの二酸化炭素を排出するだけでなく収集や運搬にも多くのエネルギーが使われます。資源ごみの分別を徹底して、ごみを資源として再利用しましょう。



ごみの分別が不十分だと、余分なエネルギーが使われます

「3キリ運動」で生ごみを減らしましょう

生ごみの4分の1は食べ残しや保存切れのものと言われています。適量を食べキリ、残り物も使いキリしましょう。また、生ごみは80%が水分です。十分な水キリをして、ごみの排出量を減らしましょう。

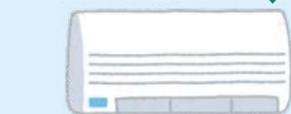


ネットとペットボトルの飲み口を活用して、簡単な水キリにチャレンジ!

本市における令和2年度 二酸化炭素排出量



家庭のエネルギー消費量
大きいものから減らしてみると...



夏場の冷房温度を27℃から28℃に

年間 **990** 円の節約
(CO2削減量 14.8kg)

夏場の使用時間を1日1時間減らす

年間 **580** 円の節約
(CO2削減量 9.2kg)



冷蔵庫の食材を半分に

年間 **1,360** 円の節約
(CO2削減量 21.4kg)

重点対策② 市内の6施設に 太陽光発電設備を設置

国は、公共施設に太陽光発電設備の設置を進める方針を示しており、市では設置が可能な施設への設置の検討を進めています。

今回、重点対策加速化事業を活用して、市内6施設に太陽光発電設備を設置します。

施設名
1 湯遊ランドあいら
2 北部学校給食センター
3 南部学校給食センター
4 鹿屋女子高等学校(増設)
5 保健相談センター
6 産業支援センター

重点対策③ 湯遊ランドあいらに、 太陽熱温水設備等を導入

湯遊ランドあいらでは、太陽熱温水や太陽光発電の設備の導入を進めています。

老朽化した建物や設備の改修工事(令和6年度まで)に合わせて設置する太陽光を活用した設備は、温室効果ガスや光熱費の削減等に貢献できます。

▼鹿児島県庁に設置された太陽熱温水設備

